

平成20年度 第1回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成20年6月30日(月) 10:30~17:13
2. 場 所 佐渡市役所 3階 大会議室
3. 出席者 26人

推進委員		佐渡市役所	
会 長	中川英男	総務部長	斉藤英夫
職務代理	信田恵子	企画財政部長	斉藤元彦
委 員	伊藤稔	市民環境部長	金子優
"	宇留間博	福祉保健副部長	樋口賢二
"	後藤新一	産業観光部長	佐々木正雄
"	田村秀	建設部長	田畑孝雄
"	松本保之	教育次長	藤井武雄
"	山本初子	選挙管理委員会事務局長	藤井雄一
"	山本保孝	農業委員会事務局長	藤井与嗣明
		消防長	加藤貴一
		総務部副部長	本間進治
		事 務 局	
		総務部行政改革課長	佐藤金満
		総務部行政改革課長補佐	清水忠雄
		総務部行政改革課行政評価係長	加藤留美子
		総務部行政改革課行政評価係主事	長尾啓介
		総務部行政改革課行革推進係長	丹下高晴
		総務部行政改革課行革推進係主任	北見太志

4. 会議内容

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員自己紹介及び事務局紹介
4. 会長の互選(職務代理者の指名)
5. 諮問
6. 議事
 - 1) 佐渡市行政改革推進委員会の開催予定について
 - 2) 評価方法等について
 - 3) 佐渡市行政改革大綱実施計画(集中改革プラン)の進捗管理について
 - ・各部局の重点改革項目(2008年マニフェスト)の「計画の妥当性」を評価
 - 4) その他
 - ・本年度の行政改革課の重点取組事項について
 - ・第2回佐渡市行政改革推進委員会について

7. 閉会

会 議 録 (要 約 版)

1. 開会

佐藤行政改革課長あいさつ及び進行

2. 市長あいさつ

市長あいさつ

3. 委員自己紹介及び事務局紹介

推進委員の紹介の後、事務局の紹介を行う。

4. 会長の互選（職務代理者の指名）

佐渡市行政改革推進委員会条例第4条に基づき、互選により中川英男委員を会長とし、職務代理者に信田恵子委員を指名。

5. 諮問

市長から、行政改革の推進にあたり、佐渡市行政改革大綱実施計画（集中改革プラン）の進捗管理について、委員会の意見を求める諮問書を中川英男会長に交付。

6. 議事

会長あいさつ後、議事を進行

1) 佐渡市行政改革推進委員会の開催予定について

【事務局の説明】

今年度は、当委員会については、5回の開催を予定している。

第1回 平成20年6月30日

主な議件・行政改革マニフェストの計画の妥当性の評価

第2回 平成20年7月末頃

主な議件・平成19年度マニフェストの最終評価及び答申書の作成

第3回 平成20年10月末頃

主な議件・本年度の行政改革課の重点事項について審議

第4回 平成21年1月末頃

主な議件・本年度マニフェストの中間評価

第5回 平成21年3月中頃

主な議件・本年度マニフェスト評価のまとめ、中間答申書の作成

2) 評価方法等について

【事務局の説明】

行政改革マニフェストの取組みの経緯並びに評価方法について説明。評価方法については、マニフェストの項目毎に、計画の妥当性、取組過程、実績及び実施後の対応について、5段階評価とし集計結果を推進委員が審議し、最終評価を取りまとめる旨を説明。

【中川会長】

改革マニフェスト評価について、従来どおりの方法、配点基準によって行うことで決定する。

3) 佐渡市行政改革大綱実施計画(集中改革プラン)の進捗管理について

・各部局の重点改革項目(2008年マニフェスト)の「計画の妥当性」を評価

【中川会長】

各部局長から順次、説明を行い、その後、委員の質疑を進める。

総務部・企画財政部・市民環境部・農業委員会事務局の改革マニフェストのプレゼンテーション

【斉藤総務部長・斉藤企画財政部長・金子市民環境部長・藤井農業委員会事務局長】

(それぞれの改革項目について概要説明)

総務部長の改革項目

1.時間外勤務手当の削減、2.広報等への有料広告の掲載、3.市長への便りの迅速な対応、4.職員定数の改革、5.行財政の改革、6.備品等管理体制の見直し、7.公有財産の有効活用、8.危機管理体制の整備

企画財政部長の改革項目

1.実質公債費比率の改革、2.適正なる予算規模に向けての予算編成方針、3.政策決定過程への女性の参画、4.定住促進対策、5.佐渡航路対策、6.生活交通確保対策、7.地域情報化の推進、8.市民メール配信サービスの推進

市民環境部長の改革項目

1.窓口サービスの充実、2.市税等の財源確保、3.地球温暖化対策の取組、4.グリーン購入の推進、5.トキ野生復帰への取り組み、6.ごみの減量化と再資源化の推進、7.し尿処理手数料収納率の向上

農業委員会事務局長の改革項目

1.地域特性を活かした産業の振興

総務部・企画財政部・市民環境部・農業委員会事務局の改革マニフェストに対する質疑

【伊藤委員】

総務部の有料広告の関連で、広報紙、ホームページ以外に、316台の公用車を広告媒体にするということは計画しているか。

【斉藤総務部長】

手始めに広報紙とホームページによる取組みを考えたが、公用車も動く媒体であることから対応していきたい。ただ現在、公用車に色々なキャッチフレーズが書かれた車があり、整理したうえで対応したいと考えている。

【田村委員】

3部長に質問をする。複数の項目を掲げているが、その中で重点的にどこに取組もうとされているか、そして20年度計画に当たって部長として工夫をされた点は何か。

【斉藤総務部長】

職員の削減を第一に取組みたいと考えている。類似団体と比較して、約2倍の一般行

政職があり、それに対する取組みを進めたいと考えている。何に重点をおいているかという点は、退職し易い雰囲気をつくること。具体的には勤奨退職の場合には退職年齢に応じた率の割増と人材バンクの適用をしていきたい。われわれが持っているノウハウを民間でも活かしていける場所を見つけ、できるだけ辞め易い雰囲気を作っていこうと思っている。

【斉藤企画財政部長】

全部重要ですが、特に交通問題が重要と考え、佐渡汽船、バス交通の問題は重点的に取組んでいかなければならないと思っている。今年から交通政策課が新設されたということがその表れかと思う。

部長個人の工夫としては、まずジェットfoilとカーフェリーを使って、乗った時に自ら船の中を見て、カーフェリーにはイベントホールがある、また、お客さんが寝ている間にテレビを見ているのも分かりますし。それからジェットfoilについても乗っている間にテレビが流れていて、それが野球中継だったのが突然、佐渡の観光PRビデオに替わり、それがまた見ている途中で野球中継に戻ってしまうといった問題もある。自分で使ってみることで、気がつくことがある。同じようにバスについても実家に帰る時などに両津行きのバスを利用することによって、値段が高いとか、お客さんが意外と乗っているとかがつくので。あと、カーフェリーから降りてみると、意外とバスがある。これらを活用していただけたらと考えている。自分の目で色々な所へ行って、問題点を把握していきたいと思っている。

【金子市民環境部長】

1階（市民課）については窓口サービスの充実方法を考えること、2階（トキ共生・環境課、廃棄物対策課）については環境にやさしい美しい島づくりを目標に2課が共通の目標に向かって取組むよう指示をした。

【山本(初)委員】

総務部に危機管理体制の整備があるが、組織数はどれくらいを考えているか。

【斉藤総務部長】

地区によっても組織の単位が異なる。集落の実組織として約600ある。現在組織されているのが154団体。どういう単位で結成してもらえるかということもある。分母になるのが全世帯数で、2万5千世帯がなんらかの形で防災組織を結成していただければと考えている。

【山本(初)委員】

企画財政部長にお聞きする。前回、生活交通確保対策委員会の委員に女性が2名いて、婦人会と消費者協会が入っており、それでも少なすぎると思っていた。今回、更に婦人会だけとなっている。なぜ1名になったのか。女性の参画が掲げられており、しかも新しく設置された協議会である。

それから生活交通確保対策委員会の時に問題があった2億円の税金を赤字路線に投入している。サービスの格差があり、前浜線にバスの走っていないところがある。走っていないところはともかく、相川地区の外海府方面と両津地区の鷲崎方面は路線バスが走っているほかに福祉バスがあるところがある。この取扱いはどうなったか。

【斉藤企画財政部長】

1点目の地域交通協議会に女性委員が少ないのは、充て職でこのような形になってしまった。20人近くのメンバーになり、人数を悩んだが、婦人会に入っただくことに対応せざるをえないと思ったのが正直なところである。

2点目の福祉バスの重複については、そこが問題になっており、相川と両津にそれぞれ福祉バスと病院バスが重複している問題も議会からも指摘されており、それらについてもどのような姿が良いのかを今回の協議会で正面から取組んでいく形になる。

【山本(初)委員】

2億円の税金を投入しているので、早急にサービス格差は考え直していただきたい。女性の委員については考え直す部分はあるか。

【斉藤企画財政部長】

委員は固めている。あとは例えばヒアリングをする時に消費者の声を聞きながら、運用部分で女性の意見を聞く工夫をしていきたい。

【山本(初)委員】

市民環境部に窓口サービスの充実があるが、電話対応の研修等を行う予定はあるか。

【斉藤総務部長】

電話対応の研修は総務部での対応となる。窓口研修については、年に2回の研修を予定しており電話対応も実施する予定である。

【山本(初)委員】

グリーン製品で割高になっているということはないか。

【金子市民環境部長】

割高なものもある。基本的には割高であってもグリーン購入を進めている。ただ類似品もあるので、よく検証して購入するよう指示している。

【山本(初)委員】

地球温暖化対策の取組みで、職員の路線バス利用は考えていないか。

【斉藤企画財政部長】

まず担当職員がバスを使うようにしている。それを超えて例えば全職員のノーマイカーデーみたいなものも考えており、案ができれば総務部長へ相談してみたいと考えている。

【斉藤総務部長】

全庁的な取組みは必要と考えている。駐車場を利用する場合についても、2キロ未満の職員は原則禁止で駐車場も許可制にしている。2キロ未満であっても、怪我、病気、妊婦等は別である。2キロを超えた職員については、駐車場料金を月300円徴収している。できるだけ公共交通や徒歩、自転車に切り替えをしたいと考えている。

【後藤委員】

総務部長へお尋ねする。職員定数の改革と時間外勤務手当の削減は関連がある。職員を削減すると言っているが、法定人員は人口6万人に対して何人なのか。

【斉藤総務部長】

法令で人口6万人だと何人おかないといけないという縛りはない。ただ議会には市長部局の事務職員の定数は上限で示しており、その範囲の中でやり繰りしているということが実態である。ただ保育園、病院など部署によれば、子供何人に対して保育士何人

という決まりはある。職員の適正規模では、一つの目安にしているのが類似団体である。今、6万7千人に対して一般行政職の職員が838人で、他の類似団体は約半分である。人口1万人当たり130人余りの職員となるが、70人位が適正ではないかと思っているが、行政需要等があり一概には言えない部分もある。

【後藤委員】

削減するのに地区に偏りがあってはならないと思うが、重点はどこに置くのか。

【斉藤総務部長】

どこ地区の出身ということは考えていない。ただ各支所、出張所、本庁の職員は何人が適正なのかということについては、検討しているところである。

【後藤委員】

超過勤務時間について、19年度目標と比較して約10000時間短縮するということが、そのためには人員削減するということだと思うが、要らないところは削減すればよい。それが行政改革である。削減したから住民サービスが低下することがないようにしていただきたい。

【宇留間委員】

企画財政部長にお伺いする。実質公債費比率は、数字が低いにこしたことは無いが、高くなってきている。いつごろから減ってくるか。

次に佐渡航路対策ということで平成20年度目標は185万人となっているが、どういう取組みをして目標達成をするのか。

市民環境部長にお聞きする。実は昨年、地区委員をしておりボランティアで海の清掃を行ったが、ゴミを集めても回収できないと言われたが、回収等にはどのように取組みなのか。

【斉藤企画財政部長】

実質公債費比率については、増えていくと思う。というのは、新市建設計画の実施で借金が必要で、且つ、後6年位すると交付税の特例措置が切れるので分母が減る。また、借金していたものを返すということになると25年から30年をたった先から段々減っていくということになる。

【宇留間委員】

18%に限りなく近くなるということは、間違いのないということか。

【斉藤企画財政部長】

よって、できるだけ借金をしないことと新市建設計画の見直し等の取組みを考えている。

2点目の航路の件は、補助事業を使って活性化事業を考えている。具体的には船内でのイベントや運賃体系の見直し、早割りなどの取組みが必要と考えている。

【金子市民環境部長】

今年も各地区で清掃の取組みが始まっている。回収で困っているのは漂着しているロープ、網、海藻である。クリーンセンターに搬入しても細かく裁断する必要があるため、現在、処理業者を探している最中である。不法投棄の兼ね合いもあるが、市で回収する方向で業者調整を行っている。よって、今年は集めていただいたものは回収する方針である。回収場所が遠い、また、車が入れないような場所については、道端まで運び出し

ていただければ回収したいと考えている。

【宇留間委員】

昨年、集めて県道端まで持ってきても、市の方で回収してくれないということであった。今後そのようなことがないようにお願いしたい。

福祉保健部・産業観光部・建設部の改革マニフェストのプレゼンテーション

【樋口福祉保健副部長・佐々木産業観光部長・田畑建設部長】

(それぞれの改革項目について概要説明)

福祉保健部長の改革項目

1.保育料収納向上の改革、2.保育園の統合、3.介護予防事業の推進、4.乳幼児健康審査の受診率向上、5.成人の各種健(検)診の受診率向上

産業観光部長の改革項目

1.環境負荷低減活動の推進、2.地域特性を活かした産業の振興(農業担い手の確保、育成)、3.地域特性を活かした産業の振興(竹林整備)、4.地域特性を活かした産業の振興(復田整備)、5.直営施設管理運営の適正化、6.誘客の促進、7.合宿等誘致の推進、8.企業誘致の推進、9.地域産業の推進

建設部長の改革項目

1.市営住宅使用料の収納率向上、2.行政手続きの簡素化、3.水道使用料収納率の向上、4.水道料金の統一、5.下水道水洗化率及び使用料収納率の向上、6.生活排水の垂れ流し対策

福祉保健部・産業観光部・建設部の改革マニフェストに対する質疑

【伊藤委員】

保育園の収納率が100%にならない理由は何か。

【樋口福祉保健副部長】

毎月のように督促状の発行、園長から保護者への電話催促、個別訪問及び催告状の発行を年間、繰り返し実施しているが、なかなか理解が得られない。ある程度の収入がある方が納付いただけないような状況がある。それから佐渡市にも外国の方が来られており保育園を利用されるが、外国に帰ったり、転出したり住所を点々と移して分からなくなってしまっている。そういう状態もあり、100%は厳しい状況である。

【伊藤委員】

問題は何かということ突き止めていただき、解決していく必要があるのではないかと
思う。

次に産業観光部長にお伺いする。誘客の促進で68万人を目指すということであるが、それに対する対策を教えてください。

【佐々木産業観光部長】

特別な対策というより、地道な取組みの継続だと考えている。今年の場合については、秋のトキ放鳥をどうアピールして上手く利用できるかということこれから検討していきたい。単発ではなく継続させるかということが一番に考えている。合併時の観光客は73万人であった。最終目標はそこにしたいと思うが、今の景気状況等を考えると、宿

自体も少なくなっている。一日の受入れ可能数が以前は7,000から8,000であったが、今は4,800位(旅館のみ)このような数字もあり、いかに平均的に長く佐渡を売り出すかということを考えている。

【伊藤委員】

合宿誘致の関係であるが、平成19年度実績は5,200人泊となっているが、何団体くらいになるのか。

【佐々木産業観光部長】

昨年の合宿誘致数については、高校、大学、専門学校、その他団体等があり、103団体を誘致している。

【伊藤委員】

次に田畑建設部長にお伺いする。住宅を管理しているのは建設課か。これは民間に委託しているようなことはあるか。他の自治体では民間管理でメリットがあるということも聞きしたが。

【田畑建設部長】

委託はしていない。全て建設課の住宅係で管理している。

【後藤委員】

福祉保健部にお伺いする。少子高齢化が進んでいる中、マニフェストを見ると、検診ばかりである。高齢者福祉10ヵ年戦略はどこへいったのか。老健施設などについてどう考えているのか聞きたい。なぜ健康だけにこだわっているのか聞きたい。

【樋口福祉保健副部長】

高齢化をして病気になっていく、或いは介護が必要になってくる。そのような部分については、介護施設などの充実も図っていかなくてはならない。佐渡市では介護保険事業計画を策定しており、今、第3期で来年3月に終了するが、在宅、入所を含めた施設づくりは、そちらの計画で行っている。また来年4月以降に第4期の計画を立てて取り組んでいきたい。このマニフェストについては、その計画とは別に、どのようにして健康を保っていけるかという部分を中心に掲げている。

【後藤委員】

もう一点。国の金を当てに佐渡は生きていかなければならないと私は思う。その原点からすると名古屋に厚生省が何億と金をかけてシルバーゾーンという年寄りを全て含めた施設があると聞く。そういったものを佐渡に持つてくることができないものかどうか、観光にも結びつく部分だとも思うが、佐渡というものを部長さん達が考えてもらわないと困る。

【中川会長】

施設整備や長期構想というものは別にあると理解すれば良いのか。

【樋口福祉保健副部長】

はい、別の組織で審議している。

【宇留間委員】

建設部長にお伺いしたい。項目設定の中に、莫大なお金を使って下水道工事をしているので、加入率の項目が出てくるのかと思っていた。しかし、今年もマニフェストに加入率の問題が出てきていない。市民も興味のある部分である。加入率が低ければ、当然、

市の財政持出しが多くなる。何のための項目設定なのかと感ずるので、資料の公開を求めたい。

【田畑建設部長】

生活排水の垂れ流し対策をご覧いただきたい。今言われた下水道については、公共下水道の欄を設け、一般家庭と事業所に分けて世帯数で表わしてある。加入率となると今年度合計の目標1,010世帯を足して人口で割ると項目5の水洗化率55%になるということである。

【宇留間委員】

供用開始の下水道施設の部分の加入率を言っているので、単純に加入世帯を供用開始世帯で割った率で出して欲しいということである。

【中川会長】

それは可能か。例えば浄化施設別に計画、加入などがどうなっているかと。

【田畑建設部長】

今回の目標は世帯数の方が分かりやすいと考えて、この表現とした。

【宇留間委員】

これでは適正かどうか判断できない。1,000世帯ある内の10世帯なのか、10世帯の内の10世帯なのか判断できない。多くの方から加入してもらって、少しでも財政の持ち出しを少なくする必要がある。

【中川会長】

本日でなくても結構なので、次回、資料を提出できるか。

【田畑建設部長】

次回、資料を出したいと思う。

【田村委員】

産業観光部長と建設部長にお聞きする。マニフェストに掲げた項目全部を重要と言われても困るので、メリハリをつけていただきたい。この中で特に重要と考える項目について説明いただき、この20年度計画を立てるに当たって、工夫されたところを教えてください。

それから福祉保健部に関しては、部長でないのであえて具体的な話を聞くが、目標設定の中で佐渡は受診率が良くない。特に乳幼児が低下しているが、何かそのあたり受診率が良くない原因と現時点での対策、考えていることがあれば教えていただきたい。

【田畑建設部長】

マニフェスト作成にあたり、まず部の課長会議を開き、各課の重点目標の協議を行い、各課の重点目標を決めた。建設課については、市営住宅の適正かつ合理的な管理ということで住宅使用料の収納率向上と適正な管理。水道課では水道料金の統一、51箇所の事業所があり、最終的に佐渡市で同じ料金にしようということが重点目標である。下水道課については、水洗化率、加入率の向上ということである。

【佐々木産業観光部長】

項目を選ぶについては、継続性も必要ということで昨年からの継続部分もある。特に今年、産業振興に力点をおきたいということで、朱鷺と暮らす認証米制度、それと佐渡の永遠の課題である観光誘客の促進を重点に考えている。

【樋口福祉保健副部長】

福祉は産まれる前から死ぬまでと広いが、介護予防事業については、特定高齢者把握数で、特定高齢者を把握するチェックリストの工夫をしたい。乳児検診の受診率が低いということであるが、平日ということでご不便をかけているのかと思う。それから平日保育園に通園しているので、保育園と連携して通園児童にも案内していきたい。病院にかかりつけのお医者さんが居る場合もあり、かかりつけ医から診察してもらっているケースもあり、実績が落ちていると思う。これらについては、連絡や案内の工夫をしている。

【後藤委員】

私の手元に評価マニュアルがあるが、達成していない目標について対応したか、部局内で話して対応をしたかとあるがしっかりやっているか。

【佐々木産業観光部長】

マニフェスト自体そういう目的なので、毎年検討している。

【山本(初)委員】

福祉保健部にお聞きしたい。保育園の統合を考えた時に、相手が小さい子どもたちなので、子どもたちに負担がかからない統合を考えていただきたい。要望である。

【樋口福祉保健副部長】

了解である。それを含め統合のお願いにあがらせていただきたい。

教育委員会・選挙管理委員会事務局・消防本部の改革マニフェストのプレゼンテーション

【藤井教育次長・藤井選挙管理委員会事務局長・加藤消防長】

(それぞれの改革項目について概要説明)

教育次長の改革項目

1.学区再編と学校統合の推進の改革、2.給食業務の改革、3.施設間の連携強化と整理合理化の検討、4.歴史民族施設等の整理合理化

選挙管理委員会事務局長の改革項目

1.開票事務の迅速化

消防長の改革項目

1.応急手当の普及啓発活動の推進、2.火災発生件数の抑制、3.消防団協力事業所表示制度の推進

教育委員会・選挙管理委員会事務局・消防本部の改革マニフェストに対する質疑

【後藤委員】

一般庶民にすると脳梗塞や心筋梗塞は救急車の中で対応していただくわけだが、その時に家で倒れたら電話は本部へするのか。今までどおり119番でいいのか。

【加藤消防長】

電話は指令業務として八幡の本部で受けると、最寄りの消防署へ連絡し救急に向かうので今までどおりである。

【伊藤委員】

学校教育課のマニフェストは学校統合についてしかないが、統合は大事なことなので推進していただきたい。しかし、教育の中身というような部分が並行して大事なことだろうと思う。佐渡の小中学校の学力はどのようなものかというようなこと、新潟県でどう、全国平均でどうということをお聞きしたい。

【中川会長】

一斉テストなどを実施した際に、佐渡の学校はどうかということか。

【伊藤委員】

そうである。入れものも大事であるが、中身も大事ということを言いたい。

【中川会長】

公表できるようであれば、次回、教えていただきたい。

【藤井教育次長】

はい。

【伊藤委員】

全国一なら問題ないが、そうでない場合の対策は教育委員会としてどのようなことをされているのかということをお聞きしたかった。

【藤井教育次長】

今、私がお答えできる部分で話すと佐渡市の場合、総合教育センターが昨年4月から設置され、教育現場の教職員の専門的な方々に指導する体制ができた。特に重点的にやっているのが学力向上の観点から佐渡学を教えようという部分を強化しており、県の体制も変わる中で地元の総合教育センターが学校の先生方をはじめ、教育関係者に指導する体制強化を図りたいという趣旨で設置されているものである。県から派遣職員2名、市が雇用している指導主事が4名の体制の中で教育向上のための強化推進を進めている状況である。今、会長から昨年行われた成績について、佐渡のレベルはどうかということであるが、数字的なことをまだ公表していないが、それほど否定するような成績ではないとお答えしておくが、具体的な資料については、本日、持ち合わせていないので、可能な範囲内であればご提供申し上げたい。

【伊藤委員】

選挙管理委員会にお尋ねする。前回の市会議員の投票率は何%であったのか。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

今、資料がなく確実な数値は分かりません。

【伊藤委員】

分からなければ結構である。それと投票所の確認をしているか。開票自体を早くしていただくのはありがたいことだが、入り口がしっかりしていないと出口がいくら頑張っていたとしても効果は薄いと思う。だから投票所の統廃合のデメリットなども考え、研究をしていただきたいと思うので投票率をお聞きした。実態を目で見ていただきたい。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

投票所については、選挙管理委員から見てまわっていただいている。平成18年に投票所についてはこれくらいの距離、2階の投票所は1階に変えるとか検討した。平均2キロまでの範囲という基準で10箇所あまり統合しており、条件をなるべく一緒にしようということに変更した。限界集落というような箇所もあるわけですが、その辺も踏ま

えて考えていきたい。

【田村委員】

教育委員会と消防にお伺いする。20年度の計画を立てるにあたってそれぞれ責任者として工夫されたというか、苦勞された点を簡潔にお答えください。

【藤井教育次長】

給食業務の改革の地産産利用率、議会からも注目されている。食育が中心となるが、地産地消という観点からは教育機関としてどうなのかと考えてみた場合に、これからの学校は地域へ開かれた学校、ある意味、地域に支えられた学校になれば、地域にある意味、教育機関も貢献する必要があるだろうということで、このテーマを少し掘り下げて考えてみた。

【加藤消防長】

普通救命講習については、各署が持ち回りで毎月定例に行っていたが、集まりがあまり良くない状況であった。そこで教育委員会にお願いし、まず小学校の高学年から興味を持っていただくような活動を設定して、待つのではなく、こちらから出向く形で講習会を開くというようなことを工夫している。

【山本(初)委員】

給食業務の中の地産地消を積極的に推進するために、人員を増やしたという話を聞かすが、給食に携わる方を増やしたということか。

【藤井教育次長】

まだ増やしてないが、新聞報道等で表現の受け止め方に温度差があるようである。もちろん人的部分の強化は必要だと感じている。

【山本(初)委員】

人員を増やしたということであれば、地産率18.8%の目標では低すぎるのではないかとということで質問した。

次に75歳以上の一人暮らし世帯を対象に民生委員と防火訪問をするとあるが、先日、佐渡西署の協議会に参加した時にこの話しが出たのだが、民生委員が行くと本人が「いない」といった場合、それ以上踏み込めない。私の提案として75歳以上の一人暮らし世帯の周りの人への根回しをして、消防署の方や警察の方が行けるような体制が良いのではないと思うのが一点。それから先ほど普通救命講習を教育委員会の他に、日赤奉仕団の人たちにも呼びかければ成果が上がるのではないかと感じる。

【加藤消防長】

日赤奉仕団としても救急講習を実施いただいているので、2本立てで動いているのが実情である。AED指導までしたもので600名以上を目指している。民生委員の協力の件であるが、去年は民生委員をメインに活動したが、今回は地域の消防団員を中心として、民生委員と協力した取組みを考えている。

【後藤委員】

給食業務の改革について、新潟県食育推進計画に沿って進めると書いてあるが、地産産業の育成ということで、農水関係の課長さんとお話をしているか。

【藤井教育次長】

昨年からは佐渡市の政策的な項目ということで産業観光部の農業振興課、教育委員会、

地元業者と安定した食品のシステムができるか連携をとりながら、話し合っている経過がある。

【後藤委員】

そこで委託栽培ということは話したか。市民の経済的安定、農家の育成に努めるようにしてもらいたい。学校給食は島民に直に触れる問題なので是非、見直していただきたい。

【山本(保)委員】

地産地消には長い歴史があり、なかなかうまくいかなかった経過がある。地産地消を取り入れると給食に手間が係るということで職員を増やさなければならない問題がある。もう一つ、学校給食に間に合うような生産ができるのか問題である。そのあたりを農家と契約栽培も考え、十分吟味しながら取組んでいただきたい。

【宇留間委員】

選挙管理委員会にお尋ねしたい。ここで選挙管理委員会事務局から出された項目について評価するわけだが、時間だけではなく投票率の問題もある。それから投票所の統合の問題も2キロが良いか3キロが良いか、統合計画もあると思う。3項目くらいは必要と考える。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

投票率については選挙の種類もあるし、投票率もすぐにあがってくるものではない。

【宇留間委員】

せめて項目設定は投票率を1%でも2%あげるとか、投票所にしても経費の問題もあるが2キロなら2.5キロ、3キロにするでも良い。実際に2キロ範囲で統合していないところがある。それを解消していくのかということ掲げてもらわないと困る。

【藤井選挙管理委員会事務局長】

検討させてください。

【中川会長】

来年度に向けて検討してください。検討した結果、開票時間だけになるのは仕方ないと思う。今年はずでに公表しているので、次年度以降に検討してください。

【山本(初)委員】

新潟県食育推進計画を重視していると思うが、各学校で食育が進んでいる学校と進んでいない学校と格差がある。先日、会議に出席させていただいたが、その際に食育自体を知らない学校もあったが、どういう指導をしていく予定なのか。

【藤井教育次長】

特別学習活動がどういう形で行われているか、食育についてどのような項目を設けて活動しているか、取組んでいるか調査、指導をする。

【山本(初)委員】

トップの考え方で違うので、項目として掲げる以上、各学校に徹底した指導をお願いしたい。

【中川会長】

他に質問ございますか。なければ終了させていただく。

4) その他

【中川会長】

その他ですが、事務局から説明してください。

【事務局の説明】

本年度の行政改革課の重点取組事項について
公共施設の見直し

昨年12月に公表した公共施設見直しの方向性に沿って地域等への説明会を進めている施設が65施設ある。それら地域との調整によって一部方向性が変わってきている施設もある。今後、更に検証並びに地域説明等を実施し見直しを行っていく予定であり、その見直した内容についても、内部調整を行い、再度、公表していきたい。

また、昨年の公共施設見直しの取組みにより、温泉、保育園及び学校等の9施設について統廃合をさせていただいた。

補助金・負担金

補助金負担金の見直しについては、当委員会から平成17年度に中間答申を受けており、その内容を踏まえ見直しを進めてきたが、なかなか徹底ができないことから、昨年9月の当初予算編成段階にあわせ各部局長宛に見直し方針を通知している。

見直しの視点は、(1)サンセット方式の徹底、(2)小額補助金の廃止、(3)補助率の見直し、(4)類似補助金の統合メニュー化、(5)数値目標の設定検証及び団体負担金の整理等である。方針により見直された事業は67件で約4千万円の削減を図っている。

今後、更なる見直しが必要ということで今年度は事務事業評価の中を含め、見直しを進める予定である。また、これとは別に、地域型交付金制度についての検討を進めている。地域型交付金とは、現在各集落等の地区囑託員、衛生班長、農事連絡員及び公民館長等にそれぞれ報酬、委託料等といったものが行政側から支払われており、それぞれの団体の対象エリアがほぼ似通っていることから、個々で事務を行うのではなく一括して地域交付金という形で交付できないか、これまでの補助金や委託料のように目的化せず、ルールに基づき交付し地域の裁量で自由に使える位置付けにし、地域の活性化や自主性を促したいという狙いと市の交付事務の負担も軽減できないかということで、現在、事務改善委員会の中で検討を進めているところで、この後の委員会の中でお示ししたいと考えている。

行政評価

行政評価システムは行政改革大綱の集中改革プランの実施項目である。事務事業の見直しの具体的手法として18年度からシステムの構築に取り組んでいる。佐渡市の行政評価システムについては、施策評価と事務事業評価の2構成で対応し、ただいま検討している。システム導入の目的としまして、事業の目的化による成果を重視した効率的な事務、事業への整理、職員のコスト意識の醸成と政策形成能力の向上、行政の透明性の向上と市民への説明責任を目的に導入した。システム構築期間として18年度を1年目として3年間で平成20年度、今年度までをシステム構築期間としている。構築のための組織体制としては、職員で構成する行政事務改善委員会において検討し、実施している。

進捗状況としては、18年度に業務棚卸し、事務事業の総合計画に沿った目的体系化、事務事業評価の試行となっており、19年度に事務事業評価の実施と併せ、施策評価の試行を行っている。今年度については、事務事業評価、施策評価の実施を行い評価結果の活用について、検討していきたいということで現在行っているところである。

次年度以降の組織

佐渡市の職員数は類似団体と比較して非常に多く、倍近い人数がいるが、毎年削減していかなければならない状況である。20年度マニフェストでも、60名以上の削減ということで掲げている。昨年、本庁支所においてはある程度、支所の構成が地域、エリアごとの分担をする拠点部分とその他支所ということで大きく構成員を見直したところである。春から各支所をまわり職員数が減ったことによる不都合な点等、支所の状況を聞いており、その部分を次年度に向けてどうゆうかたちで組み立てていくのか、事務改善委員会の中に3分科会を設け、21年度の本庁組織、21年度の支所組織、将来的な佐渡市の組織機構ということで、検討しているところである。今まで支所を減らし、本庁に集約してきたが20年度の組織改編で支所が極限近いことから、今後は、本庁を減らしていくに当たって、どのようにして業務を見直していくかということ、行政評価とも連動して、事務改善委員会の中で検討していきたい。それから今まで毎年毎年の改編ということで市民から将来的な組織が全く分からないという意見もあるので、同じような団体を参考に、佐渡市の特定の業務の違いを把握しながらどのような構成でいけるのかということまで踏み込んで検討をしたいと思っている。

【中川会長】

他に資料等で説明することがなければ、評価表の提出期限などを説明してください。

それでは19年度のマニフェストに対する最終評価、それから本日実施した20年度マニフェストの評価をいつまでにどうするか、具体的なことを決定していただきたいので事務局、説明をしてください。

【事務局の説明】

第2回推進委員会によって提出日が異なるので、先に第2回推進委員会の日を決定していただきたい。第2回推進委員会の議題については、平成19年度改革マニフェスト最終評価及び最終答申書の作成をお願いしたい。事務局案は、7月28日から31日の間で、時間的には半日程度で考えている。

【中川会長】

今、説明があったが、4日間で都合の悪い委員はいますか。(会長一任の発言有り)

では、7月30日(水)の午後1時30分から決定する。詳細は改めて通知する。

【事務局の説明】

本日、評価いただいた評価表は、当分の間、取りまとめる予定はないので、各自で2月まで保管していただきたい。

次回の委員会で、平成19年度最終評価を実施するが、この後、平成19年度マニフェストの最終の自己検証シートを各部局長が記載し、次回の委員会の前に各委員へ郵送させていただきたい。今年2月に自己検証シートに基づいて評価を行っているが、そ

の際は実績見込値での評価であり、今回は実績値が確定したので、その実績値による最終評価をお願いしたい。最終評価した委員用評価表については、7月24日(木)までに行政改革課まで提出いただきたい。その後、集計し最終答申書(案)を作成し、その内容を次回委員会で審議いただきたい。

また、今年度から新たに委員になられた方もいるが、昨年のプレゼンテーションを受けてないことから評価しづらいと思うので、「実績」のみを自己検証シートに基づき、客観的に評価いただければと考えている。

【中川会長】

それでは新たに委員になられた3名の方にお聞きしたい。お手元に検証シートが配布されていると思うが、19年度については、プレゼンテーションを受けていない中で、実績部分のみ評価が可能かどうかご意見いただきたい。

【後藤委員】

19年度分は勉強不足から、遠慮したい。

【松本委員】

書きようがない。

【信田委員】

今、聞いたことを理解するだけで精一杯で、19年度評価は、数字は確かに出てくるが評価することは難しい気がする。

【中川会長】

それでは19年度の最終評価については、当時、携わったここにいる7名の委員で行うということで、20年度からの評価については新しい委員に加わっていただくということをお願いしたい。

7. 閉会

信田委員あいさつ